

第3回一宮地区公共施設再整備基本計画策定委員会 議事録

- 1 開催日時 令和4年12月21日(水)午前9時30分～午前11時30分
- 2 開催場所 健康福祉センター（いかまい館）2階 研修室
- 3 出席者
【委員】8名、【オブザーバー】1名、【事務局（副市長含む）】8名
- 4 議題
 - (1) 開会
 - (2) 議事
 - (1) 基本方針、コンセプト案について
 - (2) 設計時要求事項について
 - (3) 基本計画（案）について
 - (3) その他
 - (4) 閉会

5 議事内容

(1) 開会

事務局より、開会のあいさつを実施。2名の欠席者について報告を行った。

(2) 副市長あいさつ

田中副市長より、あいさつ

(3) 議事

①基本方針、コンセプト案について

事務局より、資料1-1「施設再編の基本方針(案)」資料1-2「施設再編のコンセプト検討資料」を用いて説明。

(質疑応答)

委員長 (代理)	「本宮山」、「賑やか」などどのような性質の場所となるかを説明する文章が入ると、雰囲気を与えられて工事事業者や設計者、利用者に本施設が持つ雰囲気を伝えられると思うがいかがか。キーワードの追加案でも良いのでご意見をお願いします。
委員	多世代は良いと思う。また、学び、活動するというキーワードが良いと思う。「多世代が学び活動する」という言葉は施設イメージを伝えると思う。
委員	地域の人に発信するためのコンセプトであると考え。誰に訴求したいイメージかということが重要である。 地域の賑わいを中心に据えるのであれば、「みんなが集まる」イメージを伝えるものが良いと思う。
委員	「多世代」は響きも良いが、イメージがすぐにできないので、「子供も大人も」などの具体的なキーワードが良いと思う。本宮山は地域のイメージとなっているので、入れると良いと思う。
委員	案①が良いと思う。本宮山を中心に据えて、地域のみならず、地域外の方にも本宮山のイメージを持ってきてもらえるような地域になると良い。
委員	本宮山と砥鹿はかぶる言葉である。本宮山の近くは学びの場である。このことを意識してコンセプトを作成してもらいたい。
委員	地域の方に訴求することはコンセプト作成上のポイントになると思う。「退屈だったら行ってみよう」などの気軽に地域の人が集まれるキーワードを入れると、地域の方に施設イメージを訴求出来て良いと思う。

委員長（代理）	<p>他都市事例を見てみると、「集まる雰囲気」を他の言葉に置き換えている事例が見られる。（OPEN, ナカドマなど）このように考えても良い。</p> <p>地域の方が、当たり前だと思う雰囲気を設計者は捉えていないということがあ。そのように訴求する相手は施設をつくる設計者でもあると思う。</p> <p>そのように雰囲気を伝える象徴的な言葉が入ってもよい。</p> <p>仮案でいただいている、案①でいくか、「みんなで」「賑やか」「気軽に」を入れていくかどのように考えるかどちらかである。</p>
委員	<p>横浜の事例を見てみても良いコンセプトとなっている。施設は既存にあったものを一つにする再編の計画であることを忘れずに、「人、自然、町がつながる」などの言葉を入れても良い。</p>
委員長（代理）	<p>たくさん意見を頂きありがとうございます。「多世代がつながりあえる交流の場」などとしても良いか。</p>
委員	<p>この施設に何を求めるのか、もコンセプト決定の上で重要である。どのような目的で建設していくのかを率直に表現することも重要である。</p>
委員長（代理）	<p>頂いた意見をまとめて、「人と自然と町がつながる。学びと交流の場」などいかがか。このコンセプトを中心にもう一度事務局に整理をお願いしたい。</p>
事務局	<p>承知した。いただいたコンセプトを中心に再度整理をしてお示しする。</p>

②設計時要求事項について

事務局より、資料2-1「基本計画図(案)」、資料2-2「設計にあたっての要求事項(案)」について説明。

(質疑応答)

委員	<p>駐車場台数に乖離がある。図面には 200 台程度、要求事項には 300 台程度とある。乖離が 100 台あることが懸念される。実際はどの程度設けられそうなのか。100 台の乖離を埋められそうか。</p>
事務局	<p>各課に必要な駐車場台数についてヒアリングを行っている。100 台の駐車場台数の乖離を埋めるために、敷地の利用について 2 階建ての駐車場なども検討が必要と考えている。第 4 回の策定委員会には具体的な駐車台数を報告したいと考えている。</p>
委員	<p>駐車場のラインは 1 本線ではなく U 字のラインとすると、隣の車との距離に余裕が出る。このように駐車場の安全性を高める対応をしてほしい。</p>
委員	<p>要求事項のなかに、地元産の木材の利用推進とある。これは積極的に推進して欲しい。現在は持続的な地域経営が求められている。木を使うことによって、子</p>

	<p>供たちに温かみを感じてもらえる施設としたい。構造体は RC になるのかと思うが、内装材には木を積極的に利用してもらえればと思う。</p>
委員長（代理）	<p>他都市の事例には、庁舎や体育館を木造としている事例も見られる。本施設についても構造体、内装材、外装材などで木材の活用が可能と考える。地元の木材を活用する場合には、地元建材の供給量がどの程度あるかも確認をしていくことが必要になる。</p>
委員	<p>地元産木材は検討して欲しい。間伐材の活用をしつつ、自然の保護にも努めて欲しい。木材は乾燥の時間が必要なので、方針を出すのであれば早めに決めることが重要である。</p>
委員長（代理）	<p>その通りである。供給についての課題は解決していく必要がある。木材のみならず、地域の素材、例えば、地域の砂を使った左官を利用した建物にしても良い。</p>
委員	<p>本宮山では良い砂が取れる。一宮は良い素材が取れることでも知られた場所である。親近感のある素材を利用して整備を進めて欲しい。</p>
事務局	<p>ワークショップでも地元を大事にすることの意見が多くでており、求められていることであると認識している。加えて、要求事項の冒頭にも策定委員会やワークショップの意見を入れた基本方針を守ることを入れている。提案にあたってポイントとして取り扱うように進めていく。</p>
委員	<p>広場は温かみのある場所とすることと記載しているが、芝生などの整備をイメージしているが良いか。キッチンカーが入る場合、芝生でも良いのか。キッチンカーなど車両が入る部分と芝生の部分などを分けするなどの工夫も必要になるのではないか。</p>
委員長（代理）	<p>柔らかい雰囲気を出せる外装材は芝生以外にも想定できると考える。素材の組合せなどで提案を事業者から頂けると思う。それをきちんと評価できるような選定方法としておけばよいと思う。</p> <p>設計段階では、プロセスとしてワークショップなどをしながら設計を進めていくことも考えられる。そのように考えておいて良いのか。</p>
事務局	<p>広場については副委員長が言われるようにプロセスを踏んで計画していくことを考えている。</p> <p>広場については活用方法のイメージをこれからも方向付けしていきたいと考えている。例えば、このような活動ができる広場であればよいというイメージがあればいただきたい。</p>
委員	<p>子供たちを遊ばせることが出来たり、緑が多かったりするような広場であると</p>

	嬉しい。
委員長（代理）	今回は基本計画のなかの要求事項としている、設計段階については意見を伺う場があるかもしれない。
オブザーバー	広場には屋根付きエリアを設けるとなっているが、アオーレのような全体的に屋根がかかっているものを想定しているのか。 それとも、一部に屋根がかかることになるのか。
事務局	どちらにするか確定をしているわけではない。広場に一部屋根があると、災害時にも使用できると考えている。提案事項のなかでこれから詰める内容かと考えている。
オブザーバー	最近はとても暑い。屋根があると夏でも活用ができると考える。それらも考えて、みんなの意見を聞きつつ検討を進めて欲しい。
委員	災害時対応を考えると、それに備えた機能が必要である。災害時に地域の方が活用できる機能を備えることが出来ると安全なまちづくりに繋がる。
委員	駐車場は安全性が重要である。安全性を確保した駐車場として整備を進めて欲しい。
事務局	駐車場のなかには歩く方もいる。また、駐車場内にはバスルートが通るため、歩行者、車、バスなどが安全に利用できるような駐車場にする必要がある。重要な意見として認識して検討を進めていく。
委員	これだけの施設である。緑地化としてどの程度考えているのか。 また、既存施設について、防火水槽が敷地内に2か所ある。東側は撤去するとしているが木質化を進めると考えると、雨水対策はどのように考えているか。
事務局	雨水対策について、具体的なお意見として、今後、設計を進める中で検討する項目としていきたい。 緑地化については、必要な緑地を確保しつつ、既存の大型の樹木については残すことで対応をしていきたいと考えている。
委員長（代理）	消防署はここにこの先あるのか。敷地の真ん中に位置しているため、中長期の展開として移設するなどについても視野に入れて考えていただきたい。

③基本計画(案)について

事務局より、資料3-1「基本計画(案)」について説明。

(質疑応答)

委員長（代理）	くつろげる空間としてカフェの整備の声があった。常設のものでなくても自販
---------	-------------------------------------

	機の種類やくつろげる場を整備するのか。
事務局	ワークショップのなかでもカフェについての意見をいただいた。屋内については自販機スペースを確保して、近くにソファを設けてゆっくり出来る場所を確保する。加えて、屋外に関しては、イベント時に飲食機能を導入できるものとして、整備したいと考えている。

④その他

事務局より、資料4-1「住民説明会チラシ」資料4-2「一宮地区公共施設再整備基本計画(案)概要版」について説明。

(質疑応答)

委員長 (代理)	<p>コンセプト案について、「人と自然と町がつながる。学びと交流の場」と一つ意見をまとめていただいた。これを含めて、ご意見を頂く場面があるかと思しますので、ご協力を頂ければと思う。</p> <p>第四回の策定委員会のなかで、今回のコンセプトをブラッシュアップした案をもとに、再度、協議させていただければと思う。</p>
事務局	<p>第4回策定委員会は2月20日(月)の予定である。場所は追って連絡する。</p> <p>場所は、市の本庁舎の会議室の想定である。次回の策定委員会で本計画書の取りまとめをしたいと考えていますのでよろしくお願いします。</p>

(4) 閉会

事務局より、閉会のあいさつ。

以上